

「社会を明るくする運動」青少年の非行・被害防止道民総ぐるみ運動「メッセージ伝達」

令和3年7月6日(火)、役場において第71回「社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージ及び「青少年の非行・被害防止道民総ぐるみ運動」北海道知事メッセージの伝達が行われました。

これは、犯罪防止と犯罪や非行をした人たちの更生に理解を深め、安全で安心な明るい地域社会を築くための運動で、函館保護観察所長の林京子氏から内閣総理大臣メッセージが、渡島総合振興局くらし・子育て担当部長の井田操氏から北海道知事メッセージが手渡され、盛田町長が伝達を受けました。

盛田町長は、本町においても、町民が明るく、安心して暮らせる地域づくりを目指すことを約束しました。



内閣総理大臣メッセージ伝達を交わす  
林函館保護観察所長と盛田町長

小学校5年生 防災教育で駒ヶ岳登山を実施

令和3年7月2日(金)、小学校5年生が学校防災教育の「駒ヶ岳登山」を実施しました。

この学校防災教育は、駒ヶ岳火山への防災意識の向上を目的に、平成18年度から続いており、今年で14回目となります。

児童は、事前に駒ヶ岳について説明を受け、当日は、汗をかきながらも安全に駒ヶ岳を登り切り、駒ヶ岳火山について理解を深めました。



小中学校で1人1台のパソコンの活用が始まりました!!

教育委員会では、国の「GIGAスクール構想」に基づき、3月までに小・中学校に高速大容量の校内通信ネットワーク環境を整備し、児童生徒が授業等において1人1台のパソコンを使用できるよう、合計260台のパソコンを導入しました。

そのことにより、学校での授業・学習形態が変化し始めており、課題や目的に応じてインターネットの検索ソフトを用い、様々な情報を主体的に収集・整理・分析する「調べ学習」やグループ内で個々に調べた情報を持ち寄り、対話の中で自分たちなりの答えを導き出す「協働学習」が行われるようになっていきます。

また、教育委員会や学校では、計画的なICT研修等を実施しており、教師の資質能力の向上や、児童生徒の力を最大限に引き出す等、「主体的・対話的で深い学び」に繋がる教育環境の実現に一步一步前進しています。

※「GIGAスクール構想」とは

1人1台の情報端末(パソコン等)と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、学校に教育ICT環境を実現し、これまでの教育とICTをミックスすることで、主体的な学習活動の一層の充実を図り、これからの時代に求められる情報活用能力を身に付け、主体的に学び、多様な人々と課題を解決しようとする児童生徒の育成を目的としています。



パソコンを使って調べ学習をする子どもたち



先生たちに機器の扱い方等について研修を実施